

●巾着網(中部標本船)

- カタクチイワシは、5月から8月にかけて豊漁であったが、9月以降ほとんど漁獲がなかった(図1)。
- マイワシは、年間を通じてほとんど漁獲がなかった(図2)。

●船びき網(南部標本組合)

- イワシシラスは、5月から7月と9月・10月は豊漁であったが、8月は漁獲がほとんどなかった(図3)。
- イカナゴは、昨年比べて不漁であった(図4)。

●サワラ流し網(南部標本組合)

- サワラは、8月に1歳魚を中心とした大豊漁があり、9月以降は平年並みであったが、豊漁年であった(図5)。

●アナゴ籠(中部標本組合)

- マアナゴは、1月から9月と12月に漁獲したが、平年を大きく下回る漁獲であった(図6)。

●小型底びき網

石げた網(中部標本組合)

- シタ類は、年間を通して平年並みかやや多めの漁獲であり、9月から12月にかけて好漁であった(図7)。
- メイトガレイは、年間を通じて平年並みか平年以上の漁獲があり、1月から5月は好漁であった(図8)。
- マコガレイは、年間を通して、平年を大きく下回る漁獲で、著しい不漁であった(図9)。
- ヒラメは、1月から3月にかけて昨年以上の漁獲があったが、他の月はほぼ昨年並みの漁獲であった(図10)。
- ネズツポ類(ガッチョ)は、4月から9月にかけて平年以上の漁獲があり、好漁であった(図11)。
- モゴチは、3月・6月と10月から12月にかけて漁獲が増加し、昨年・平年以上の漁獲があった(図12)。
- ガザミ(ワタリガニ)は、年間を通じて平年以上の漁獲であり、6月から10月は昨年以上の漁獲があった(図13)。
- クルマエビは、8月から10月にかけて昨年以上の漁獲があったが、年間を通じて平年以下の漁獲であった(図14)。
- クマエビ(アシアカ)は、10月と11月に漁獲が増加したが、年間を通じて昨年以下の漁獲であった(図15)。

図1

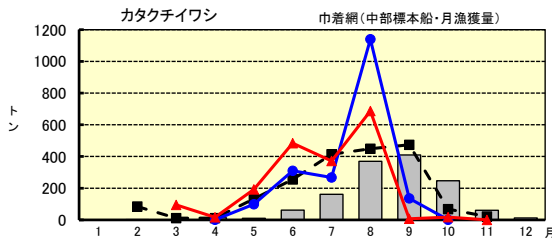


図2

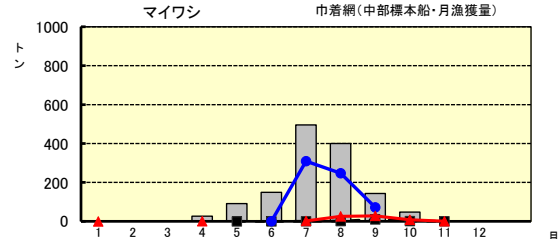


図3

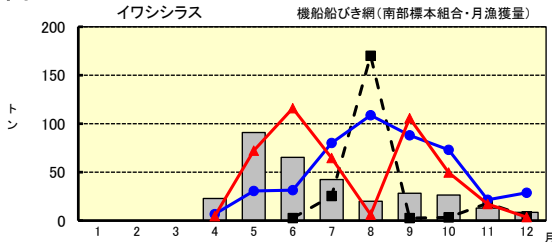


図4

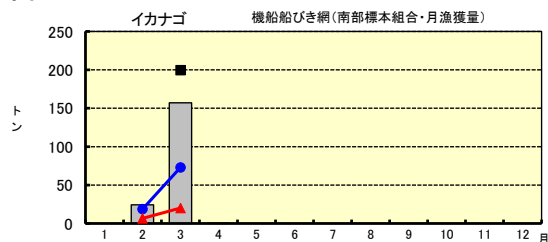


図5

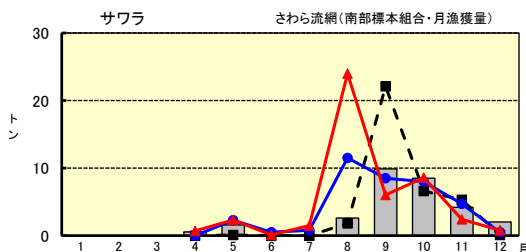
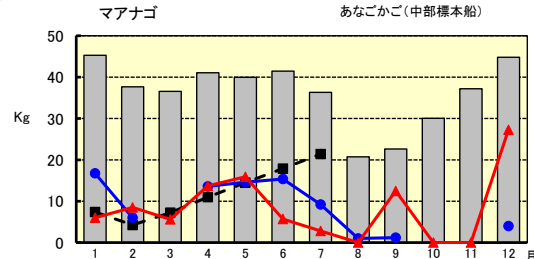


図6



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。(図1~5は、月漁獲量を示す)

■ 平年値 ▲ 平成25年 ● 平成24年 -■- 平成23年

図7

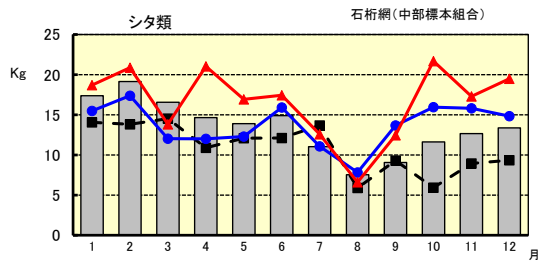


図8

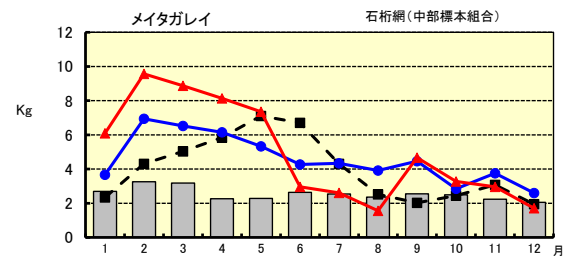


図9

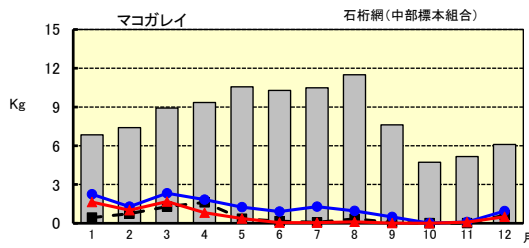


図10

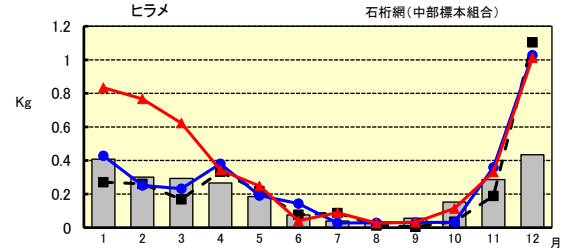


図11

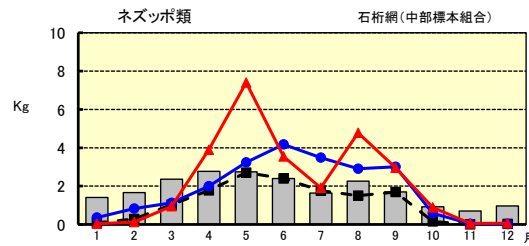


図12

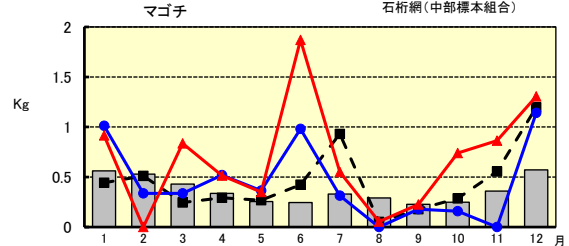


図13

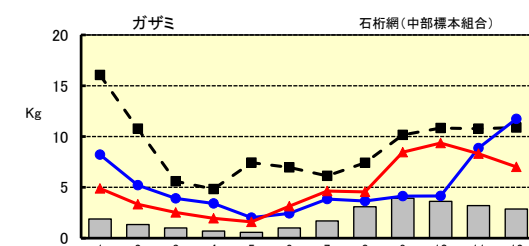


図14

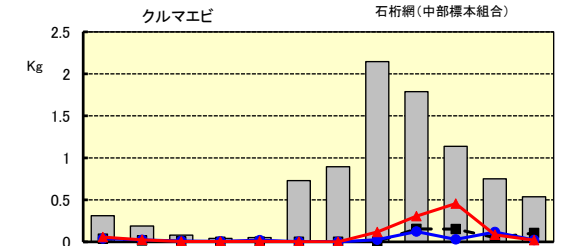


図15

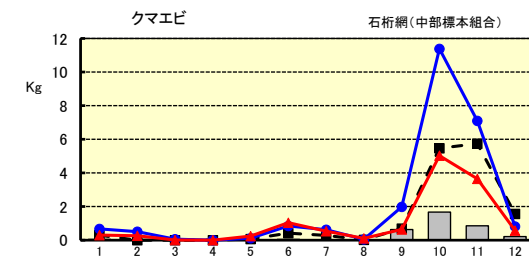
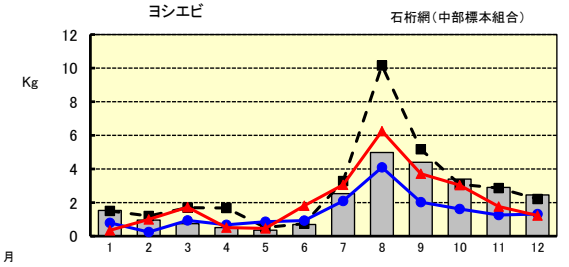


図16



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値

▲ 平成25年

● 平成24年

■ 平成23年

- ヨシエビ(シラサ)は、3月と6月から11月にかけて昨年以上の漁獲があった(図16)。
- シャコは不漁が継続しているが、5月から10月にかけて、昨年以上の漁獲があった(図17)。
- 小エビ類は、4月から12月にかけて、昨年以上の漁獲があった(図18)。
- アカガイは、1月から3月にかけて、昨年・平年以上の漁獲があった(図19)。
- トリガイは、2月から4月と9月から10月にかけて豊漁であったが、その他の月は平年並みの漁獲であった(図20)。
- コウイカ類は、7月と8月以外は平年以上の漁獲があり、特に、9月から12月にかけて豊漁であった(図21)。
- マダコは、7月と8月に漁獲が急増し、豊漁であった(図22)。

図17

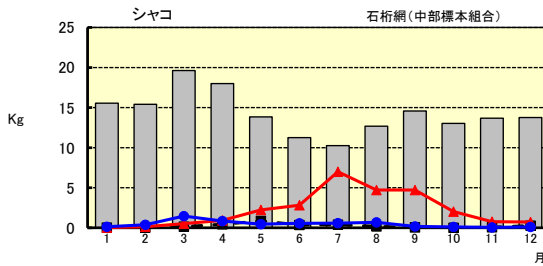


図18

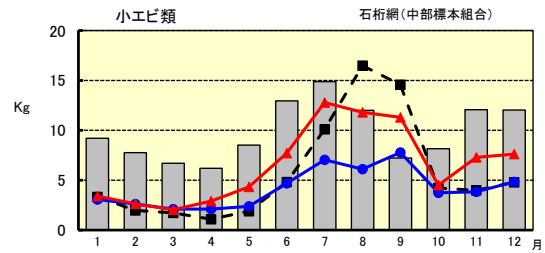


図19

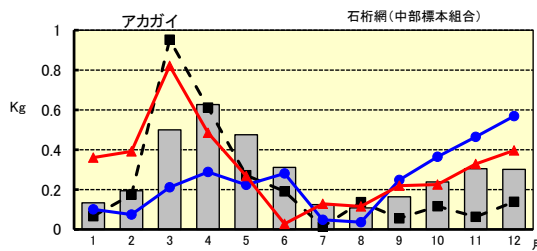


図20

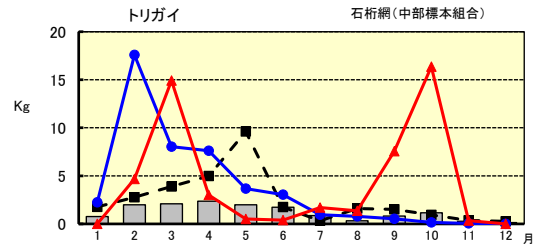


図21

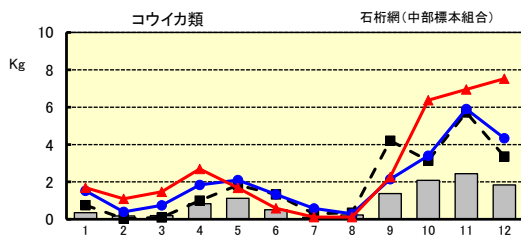


図22

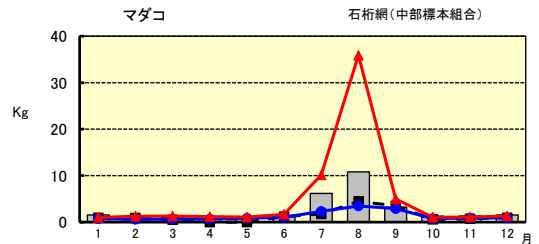


図23

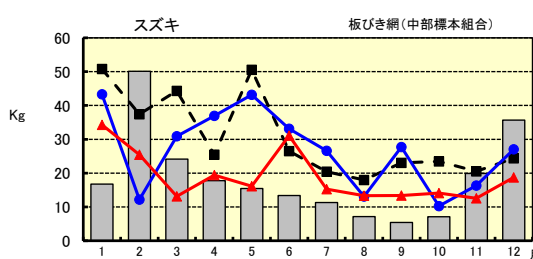


図24

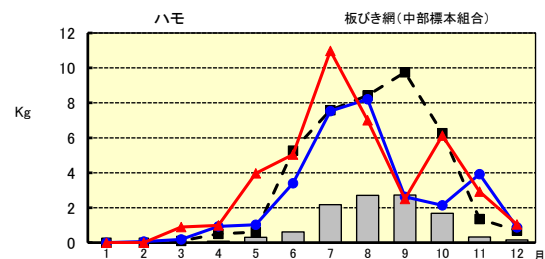


図25

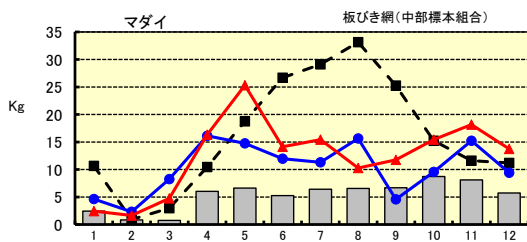
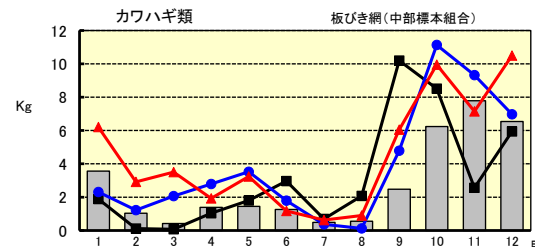


図26



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値 ▲ 平成25年 ● 平成24年 -■- 平成23年

● 小型底びき網

板びき網

- 中部のスズキは、6月から10月には平年以上の漁獲があったが、冬期と春期は平年以下の漁獲であった(図23)。
- 中部のハモは、3月～12月にかけてほぼ平年以上の漁獲があったが、9月に漁獲が落ち込んだ(図24)。
- 中部のマダイは、年間を通じて、ほぼ平年以上の漁獲があったが、6月から9月にかけて漁獲が落ち込んだ(図25)
- 中部のカワハギ類は、年間を通じてほぼ平年以上の漁獲があった(図26)。
- 中部のマナガツオは、周年平年以上の漁獲があったが、11月12月は漁獲が減少した(図27)。
- 中部のイボダイ(うおぜ)は、昨年以上の漁獲があったが、8月から10月にかけて平年以下の漁獲であった(図28)。
- 中部のタチウオは、1月と7月から12月にかけて昨年・平年以上の漁獲があり、好漁であった(図29)。
- 中部のシログチは、年間を通じて昨年以上の漁獲があり、7月以降は平年以上の漁獲があった(図30)。
- 中部のマダコは、6月から9月にかけて漁獲が増加し、昨年・平年以上の漁獲があった(図31)。
- 南部のハモは、3月から11月にかけて、昨年・平年以上の漁獲があり好漁であった(図32)。
- 南部のカワハギは、1月と9月は昨年以上の漁獲があったが、11月と12月は昨年以下の漁獲であった(図33)。
- 南部のコウイカ類は、1月と3月、8月から12月にかけて昨年以上の漁獲があり好漁であった(図34)。

図27

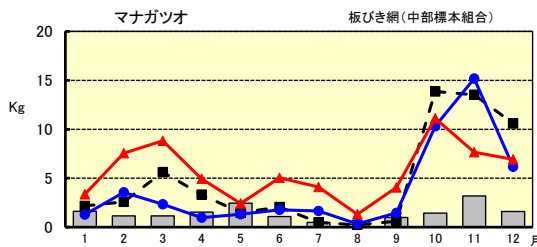


図28

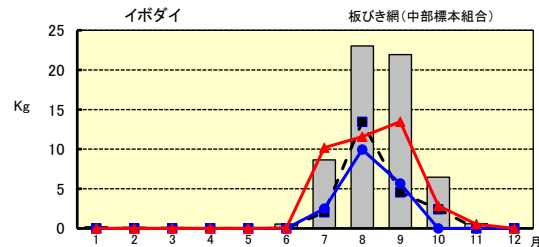


図29

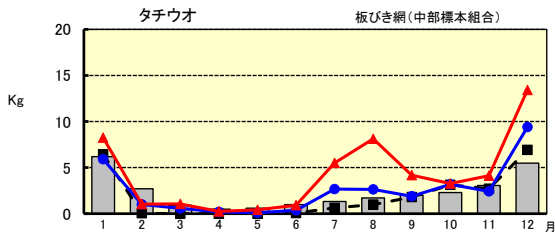


図30

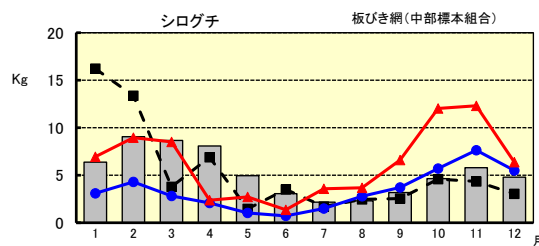


図31

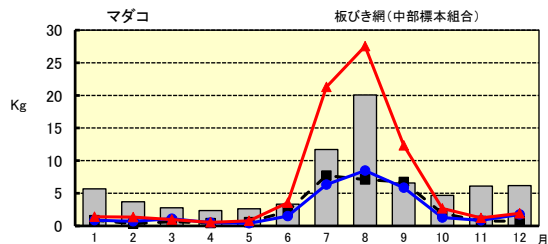


図32

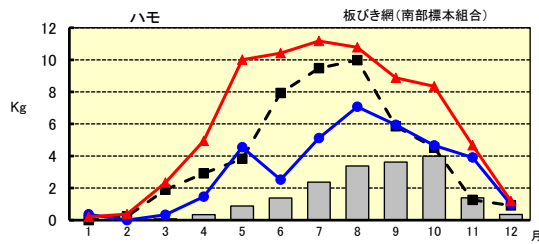


図33

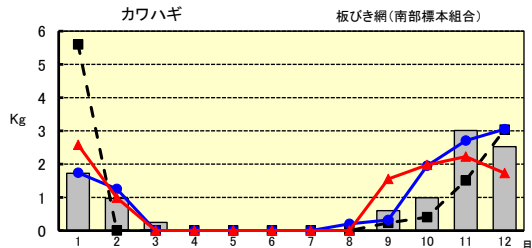
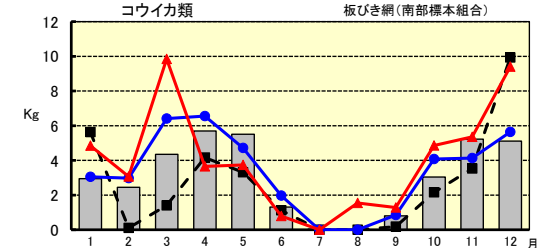


図34



1日1隻当たりの漁獲量(kg)を示す。

■ 平年値 ▲ 平成25年 ● 平成24年 -■- 平成23年